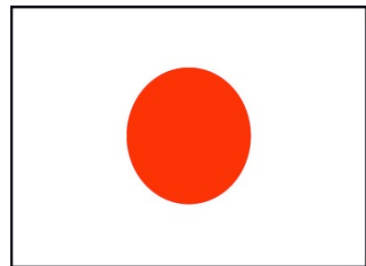




日本・ザンビア友好協会

活 動 記 録





挨拶

名誉会長 ザンビア共和国駐日大使(前)
ロンベ フィリス チベサクンダ

- ・ ザンビア・日本友好協会の構想は、1975年東京のザンビア共和国大使館で行われたECC外語学院山口 勇初代理事長との懇談がきっかけとなって生まれたものです。この構想について種々の話し合いを重ねた結果、ECCを母体とし、それをさらに発展させた組織として日本・ザンビア友好協会を設立することで合意、1975年12月に大阪にて本協会の発足に至りました。
- ・ ザンビア・日本友好協会の活動は多岐にわたりますが、その一つとして、ザンビア共和国青年と日本国青年との交流、ひいてはザンビア共同社会のあらゆる分野での、人的交流の促進が謳われています。これこそ相異なる国民の間での真の対話を可能にする唯一の方法であり、またそれによってザンビア、日本両国の連帯を一層強化することができるでしょう。
- ・ 両国が友好精神のもと、今後当協会が全ての活動に亘って、幸運に恵まれますよう願います。

1975年12月20日、大阪市天王寺区のECC外語学院本部ビル「ECC地救祭」会場にて、ロンベ・チベサクンダ初代駐日ザンビア共和国大使をお迎えして、日本・ザンビア友好協会の発会式が行われました。



地球祭宣言



1975年12月20日

ECC外語学院創立者
(初代理事長)
山口 勇

- ・ 日本が将来、平和裡に、より発展する為には、世界の国々と強固な友好関係を樹立し、そしてこれを維持しつづけることが唯一無二の道である、という確信に基づき、我々は本1968年を期して、「ECC地球祭」の名のもとに世界に友人を作る計画に着手した。
- ・ これはECC建学の理念に基づくものであり、その目的は更に拡大され、世界各国との友好協会の設立や交換留学生の実施、文化交流を目指し、或は日本国内若しくは諸外国に於いて戦争や貧困、自然災害等の災禍に見舞われている人々に暖かい援助の手を差しのべようとするものである。
- ・ 以って世界の人々の福祉増進に寄与したい。





日本・ザンビア友好協会会長
総合教育機関ECC代表理事
山口 勝美

日本とザンビア両国間の友好促進を願い、日本・ザンビア友好協会を設立し、18年間にわたり初代会長を務めてきた山口勇氏がかねてより病氣療養中のところをその効なく、1993年3月10日、他界された。

故山口 勇会長の後任として、山口 勝美ECC代表理事が同年4月1日付け日本ザンビア友好協会会長に着任。



1975

12月20日 日本・ザンビア共和国友好協会設立、発会式。
(於：大阪)



1975

12月20日 ロンベ P. チベサクンダ大使の意向を受けて、協会は大阪府庁と接渉し、大阪府知事を公式表敬訪問の実現。

12月21日 チベサクンダ大使一行を京都観光案内。

1976

6月27日 「ホノルル市長杯第6回全日本青少年英語弁論大会」開催にあたり、特別来賓としてチベサクンダ大使臨席。祝辞と共に約1,500名の聴衆に対しザンビア共和国の現況を紹介のスピーチ。（於：大阪）

6月29日 チベサクンダ大使の大阪府茨木市長公式訪問にあたり、協会より通訳員を派遣。

9月3日 チベサクンダ大使の意向を受けて、大阪市とザンビア・ルサカの姉妹都市提携実現を目指し、協会は大阪市長室との話し合いを開始。

10月24日 ザンビア共和国独立記念祭に、協会より山口 勇会長他出席。（於：東京）

10月24日 ザンビア共和国独立12周年記念日を迎えて、山口 勇会長よりジャパントイムズにお祝いのメッセージ掲載。

11月6日 チベサクンダ大使及び在阪各界よりの出席者を得て、ザンビア共和国独立12周年記念昼食パーティーを企画、主催。（於：大阪）



1978

9月19日 在阪神領事団懇親会（大阪市長主催）に出席。

10月24日 ザンビア共和国独立14周年記念日にあたり、山口 勇会長よりジャパンタイムズにお祝いのメッセージ掲載。

1979

3月22日 宮崎テレビ(UMK-TV)の30分間番組「Today's Miyazaki」に山口 勇会長とザンビア大使館のゴマ領事が出演。ザンビア紹介、日・ザ友好協会の紹介を行い、生放映される。

（於：宮崎）

5月10日 ザンビアより日本の大学への留学生受け入に関する計画書を大使館に提出。

6月24日 「ホノルル市長杯第9回全日本青少年英語弁論大会」に特別来賓としてチーフマパン駐日大使来阪。祝辞及びザンビアの現況を、約1,500名の聴衆に紹介スピーチ。（於：大阪）

6月24日 ザンビアの学生宛、通学用自転車100台贈呈の件について話し合い。（於：大阪）



1979

11月27日 協会組織改変に関する会議。（於：東京）

1980

5月31日 ザンビア政府宛、自転車100台をECC及び協会より贈呈にあたり贈呈式を開催。（於：大阪）



6月1日 「ホノルル市長杯第10回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてチーフマパン駐日大使来阪。祝辞及びザンビアの現況を、約1,500名の聴衆に紹介スピーチ。（於：大阪）

6月10日 山口 勇会長、来日中のザンビア政府総理と面談。
（於：大阪）

9月18日 国賓として来日中のケネス D.カウンダ ザンビア大統領に山口 勇会長ご挨拶。（於：宮中晩餐会）

1980

9月20日 ケネスD.カウンダ大統領の京都滞在に伴い、改めて山口 勇会長がホテルを訪ね、協会活動他について話し合い。
(於：京都)

11月15日 ECC及び協会からのザンビア政府宛、医薬品(1万ドル相当)の贈呈について大使宛提案。

1981

4月1日 ECCはザンビアにおける医薬品購入用として1万ドルを協会に寄贈。同時に、ECCと協会は「飢餓と病気に苦しんでいるアフリカ救援を！」と全国キャンペーンを開始。

6月21日 「ホノルル市長杯第11回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてJ.B.A.シオマンジ駐日大使来阪、祝辞を述べられた。また、ECCより協会が預かっていた1万ドルをザンビアでの医薬品購入用としてザンビア政府宛贈呈。(於：大阪)

1984

6月24日 「ホノルル市長杯第14回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてA.C.チャリクリマ駐日大使来阪、祝辞を述べられた。またこの日、ECCと協会はザンビアにおける医療活動促進のために1万ドルをザンビア政府宛寄贈。(於：大阪)



1984

10月3日 ザンビア共和国に「ザンビア・日本協会」発足。初代会長に前駐日大使J.B.A.シオマンジ氏がカウンダ大統領より任命されたとの連絡をシオマンジ氏から受け、日・ザ協会は基金として活用されることを願い2,000ドルを贈呈。

10月24日 ザンビア共和国独立20周年にあたり、山口 勇会長よりお祝いのメッセージをジャパントイムズに掲載。また、東京にてカウンダ大統領60歳の誕生祝賀パーティーの費用一部に役立ていただくべく30万円を寄附。

1985

6月23日 「ホノルル市長杯第15回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてA.C.チャリクリマ駐日大使来阪、祝辞とザンビアの現況を大聴衆に述べられた。

11月14日 外務省主催の「アフリカ週間・行事」に際し、来日中のUNIP A.G.ズール書記長（ザンビア副大統領）を協会事務長、大西が訪問挨拶と協会の紹介。（於：東京・大使公邸）

12月14日 来日中のW.J.ピリー ザンビア大統領補佐官と山口 勇会長との間で会談。協会の今後の活動方針に関する話の中で、ザンビアでのコンピュータ教育の分野で、協力・援助することを今後のテーマに入れることを決定。（於：東京）



1986

6月22日 「ホノルル市長杯第15回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてA.C.チャリクリマ駐日大使来阪、祝辞を述べられた。また、大使ご息子、エイモス・チャリクリマ氏は約1,500名の聴衆を前にザンビアの現況を日本語で紹介された。（尚、彼の日本語学校での学習にあたり、協会は過去1年間にわたって奨学金支給援助をしていた）。同時にこの日、ECCと協会はザンビアにおける医療活動促進のために100万円をザンビア政府宛、寄贈。

10月6日 ザンビアにおける「全国身体障害児童・青少年教育基金」設立に際して、来日中のH.タカラ委員にECC及び協会から、3,000ドルを基金として寄贈。

1987

5月26日 ボニフェスS.ズール駐日大使と山口 勇会長面談。ザンビア政府の方針として、ザンビア国営テレビより取材班を6月21日開催の「ホノルル市長杯第17回全日本青少年英語弁論大会」及び協会活動他を取材のため来日させたい、との意向が大使を通じて示された。ECCと協会はこれを受け計画実現のために来日費用の負担を決定。（於：東京・大使公邸）

6月20日 山口 勇会長は日・ザ友好協会と今までの活動状況を紹介し、また、将来の活動方針や抱負に関して来日したザンビア国営テレビ（ZBS）取材班よりのインタビューを受けた。尚、同テレビ取材班は翌日に開催された「ホノルル市長杯第17回全日本青少年英語弁論大会」全プログラム、ザンビア宛医療活動促進のための寄附として放映、両国の相互理解と友好親善の促進に寄与。



1987

6月21日 「ホノルル市長杯第17回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてボニフェスS.ズール駐日大使が臨席、祝辞とザンビアの現況を約1,500名の聴衆を前にして述べられた。

6月23日 ザンビアにおける新聞「The Times of Zambia」は日・ザ友好協会、「ホノルル市長杯第17回全日本青少年英語弁論大会」及び、医療活動用100万円寄附に関する報道記事を掲載。（於：ザンビア）

9月12日 来日中のK.S.K.ムソコトワネ ザンビア総理大臣を大阪に迎え、協会主旨の昼食会を開催。両国の更なる友好親善促進活動に関する話し合い。（於：大阪）

1988

2月9日 ボニフェスS.ズール駐日大使より大阪市とルサカ市の姉妹提携実現希望の意向を受けて側面より大阪市当局に接触、ズール大使の大阪市長表敬訪問を実現。山口 勇会長が同席。

2月10日 大使は協会の設立母体であるECC外語学院梅田校・天王寺校、及びECCコンピュータ学院大阪校・天王寺校、及び国際外語専門学校を視察、学生たちと歓談。

3月8日 来日中のルーク・ムワナンシク総務大臣来阪の機に、協会主催昼食会を開催、日・ザン両国の友好親善促進活動に関し話し合い。（於：大阪）



1988

6月26日 「ホノルル市長杯第18回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてボニフェスS.ズール駐日大使が臨席。祝辞とザンビアの現況を約1,500名の聴衆を前にして述べられた。また同大会開催に先立ち、ECC外語学院と国際外語専門学校で繰り広げていた「地球キャンペーン」による寄附金の一部と、ECC外語学院及び、日・ザン友好協会から寄附金を合わせた100万円をザンビア政府宛、医療活動促進のために贈呈。（於：大阪）

12月7日 協会とECC外語学院は、かねてより準備作業を進めていたザンビア政府宛贈呈の放送用テレビカメラ他、付属備品一式（約400万円相当）を東京より空路、在ルサカ日本大使館へ向け発送完了。

12月21日 上記放送用テレビカメラ他付属備品一式が、在ルサカ日本大使館の齋期俊男大使を通じて、ザンビアUNIP党書記長グレイ・ズル氏率いる党本部にて引渡された。Time of Zambia、Zambia Daily Mail等の新聞は、これらをザンビア国営テレビ放送局とする決定がなされた旨、大きく報道。

1989

2月6日 2月2日より2月11日までの間、東京・京都・大阪・広島等、日本各地を視察のため来日中の、ザンビア一般教育・青年・スポーツ省のヴカニ G. ニレンダ次官来阪。日・ザ友好協会本部にて、今後の活動について懇談。また、協会の設立母体であるECC外語学院梅田校を訪問。外国人のための日本語クラス、及び日本人のための英語会話クラスを見学。その後、ECC生徒達が同氏を囲み活発な質疑が展開された。

2月23日 昭和天皇「大喪の礼」参列のため来日中のケネス D. カウンダ大統領ご夫妻歓迎の会が、ザンビア大使館主催により大使公邸に於いて開かれた。日・ザ友好協会からは山口 勇会長、大西宏史事務局長が招かれ、カウンダ大統領ご夫妻に表敬挨拶。





1989

6月25日 「ホノルル市長杯第19回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてボニフェスS.ズール駐日大使が来阪、挨拶。大会開催に先だちECC及び日・ザ友好協会が展開してきた「地球救済キャンペーン」による募金とECCよりの寄附をあわせた100万円をザンビアにおける医療活動促進のために贈呈。（於：大阪）

尚、この100万円はカウンダ大統領が会長を務める David Universal Temple Trust宛、寄附を決定したとの連絡を後日、ズール大使より受けた。また、8月9日にはザンビアのラジオ、TV、新聞（Zambia Daily Mail, Times of Zambia）等にて報道された。

9月9日 「ザンビア・日本協会（本部：ルサカ）」事務局秘書カラブラご夫妻来日。大西事務局長が面談。ルサカにおける「ザンビア・日本協会」の建物建設予定の件、及び同協会基金として日・ザ友好協会が寄附した2,000ドルの支出状況の件、等について話を伺った。

（於、大阪）



1990

7月1日 「ホノルル市長杯第20回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてボニフェスS.ズール駐日大使が来阪され、挨拶。前年同様、David Universal Temple Trust宛「地球救済キャンペーン」による募金と日・ザン友好協会よりの分をあわせた100万円を贈呈。

1991

2月18日 The University of Birminghamに留学し、視覚障害児のための教育に関して研究中であるD. M. カラブラ氏宛、1,500ドルのスカラシップを付与。

6月23日 「ホノルル市長杯第21回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてボニフェスS.ズール駐日大使が来阪され、挨拶。前年同様、David Universal Temple Trust宛「地球救済キャンペーン」による募金と日・ザン友好協会よりの分をあわせた100万円を贈呈。（於：大阪）

1992

6月28日 「ホノルル市長杯第22回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてジョー・ムワレ駐日大使が来阪、挨拶。前年同様、David Universal Temple Trust宛「地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた100万円を贈呈。（於：大阪）

1993

3月10日 日本とザンビア両国間の友好促進を願い、日・ザ友好協会を設立し、18年間にわたり初代会長を務めてきた山口 勇氏がかねてより病氣療養中のところをその効なく、他界された。

4月1日 故山口 勇会長の後任として、山口勝美ECC代表理事が着任。

6月27日 「ホノルル市長杯第23回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてジョー・ムワレ駐日大使が来阪、挨拶。前年同様、「地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた100万円をザンビアにおける医療活動促進のために贈呈。

(於：大阪)

1994

6月19日 「ホノルル市長杯第24回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてジョー・ムワレ駐日大使が来阪、挨拶。(於：大阪)



1995

5月16日~24日 日・ザ友好協会の大西宏史事務局長がザンビアを訪問。

5月16日 「ザンビア・日本協会」のSecretary General, Dr. カラブラ、及びご夫人、ザンビア外務省の儀典官、同省の報道担当者他の出迎えを空港にて受け、挨拶。

5月17日

- a) ルサカの日本大使館・増井 正大使を公式訪問、挨拶。協会の自己紹介。
- b) ホン K.ワルビタ情報・放送省大臣（元ザンビア・日本協会会員）を表敬訪問。
- c) ルサカ市長を表敬訪問。ザンビア国営テレビ及び新聞報道関係者より取材インタビューを受ける。尚、この模様は同日夜のニュースで報道された。
- d) 教育省にかつて勤務し、現在は著名な小説家で元・会長でもあるチラングア氏と懇談。

5月18日 J.B.A.シオマンジ前・駐日大使（現ザンビア・日本協会会長）の訪問を受け、大西事務局長が日本・ザンビア友好協会の最新活動状況を紹介。

5月19日 ザンビア国営テレビ（ZNBC）訪問。同放送局内を視察後、同局のキース M. ナルマンゴ マネージャー他と懇談。

5月20日 ロンベ P. チベサクング高等裁判所判事（初代駐日大使）をンドラに訪ね、面談。



1995

5月22日

- a) 外務省に於いてカポマ秘書官代行を訪問、挨拶
- b) ユニセフ・ルサカ事務所を訪問
- c) エイズ感染児童達や結核と闘っている一般成人及び地域周辺の人々のために医療と衣食住の世話をしているルサカ郊外の施設、MISSIONARIES OF CHARITY THE MOTHER TERESA'S HOME (マザー・テレサの家) を訪問。

5月24日

- a) 駐ザンビア日本大使館公邸にて増井 正大使主催の昼食会に出席。
- b) ザンビアでの全日程を終了。外務省儀典官、及び「ザンビア・日本協会」の Secretary General Dr.カラブラ氏とご夫人の見送りを受け、ザンビアを出国。

6月30日 「ホノルル市長杯第25回全日本青少年英語弁論大会」に特別来賓としてジョー・ムワレ駐日ザンビア大使が来阪、挨拶。ECC及び日・ザ友好協会が展開してきた「地球救済キャンペーン」による募金とECCからの寄附分をあわせた医療品（アクアエイド100,000パック）購入のための目録を贈呈。（於：大阪）

1996

4月24日 ザンビア大学獣医学部修士課程学生2名のための奨学資金を2年間分、総額US \$ 10, 261. 00をECC及び協会より贈呈。





1996

7月15日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ活動援助資金として「ECC地球救済キャンペーン」により募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた¥500,000を（US \$4,480.29）送金、寄附。

8月8日 ヴェラ チルバ大統領夫人がPatron and Founderを務めるHOPE FOUNDATION宛、US\$10,000.00をルサカにある「ザンビア・日本協会」のSecretary General Dr.カラブラを通じて日・ザ友好協会とECCより共同で寄附。地域の方々が安心して飲用できる井戸水確保のための共用打ち込みポンプ2機購入にあてられた。尚、これは前年度に予定されていた医薬品贈呈にかわりHOPE FOUNDATIONの希望を受けて、打ち込みポンプに変更したものである。



1997

6月29日 「ホノルル市長杯第27回全日本青少年英語弁論大会」に特別来賓として、ライン P. テンボ大使が臨席、大会開会式で挨拶。
（於東京・九段会館）

8月22日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ活動援助資金として「ECC地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた¥500,000(US\$4,119.20)を送金、寄附。



1998

6月28日 「ホノルル市長杯第28回全日本青少年英語弁論大会」に特別来賓として、ライソン P. テンボ駐日ザンビア大使が臨席、大会開会式で挨拶。（於・大阪）

12月9日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ活動援助資金として「ECC地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた¥500,000(US\$3,482.63)を送金、寄附。

1999

6月27日 「ホノルル市長杯第29回全日本青少年英語弁論大会」に特別来賓として、ライソン P. テンボ駐日ザンビア大使が臨席、大会開会式で挨拶。（於・東京）

11月26日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ活動援助資金として「ECC地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた¥300,000(US\$2,844.95)を送金、寄附。



2000

6月18日 「ホノルル市長杯第30回全日本青少年英語弁論大会」に特別来賓として、エリアス M.C. チピモ駐日ザンビア大使代理が臨席、大会開会式で挨拶。（於・大阪）

10月13日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ活動援助資金として「ECC地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた¥300,000(US\$2,752.30)を送金、寄附。

2001

6月24日 「ホノルル市長杯第31回全日本青少年英語弁論大会」に特別来賓として、エリアス M.C.チピモ駐日ザンビア大使が臨席、大会開会式で挨拶。（於・東京）

10月9日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ活動援助資金として「ECC地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた¥300,000(US\$2,479.34)を送金、寄附。





2002

6月22日 シューラ P. ムサカニヤ駐日臨時代理大使、ムサカニヤ令夫人、ご令嬢のご家族を大阪に迎え、ホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会審査委員長、東京純心女子大学学長の田崎清忠氏も同席して、大阪リーガロイヤルホテルにて歓迎夕食会を開催。

6月23日 「ホノルル市長杯第32回全日本青少年英語弁論大会」に特別来賓として、シューラ P. ムサカニヤ駐日臨時代理大使が臨席され、大会開会式で挨拶。また、このたびの来阪の機会にムサカニヤ令夫人とご令嬢を大阪「海遊館」へECCスタッフをご案内。（於・大阪）

6月24日 ムサカニヤ駐日臨時代理大使とご家族を大阪の「ユニバーサル・ジャパン」へECCスタッフをご案内し、大阪滞在を楽しんで頂いた。

10月23日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ活動援助資金として「ECC地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた¥300,000(US\$2,380.95)を送金、寄附。



2003

6月8日 「ホノルル市長杯第33回全日本青少年英語弁論大会」に特別来賓として、ゴッドフリー S. シマシク駐日ザンビア大使が臨席、大会開会式で挨拶。（於・東京）



2003

8月26日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ活動援助資金として「ECC地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせて¥200,000 (US\$1,689.19)を送金、寄附。

9月28日 「アフリカ開発のための第3回東京国際会議 (TICADⅢ)」開催にあたり来日のレヴィーパトリック ムワナワサ大統領ご夫妻を日・ザ友好協会の山口勝美会長、同夫人、大西宏史事務局長がザンビア大使館公邸にて表敬訪問。協会設立以降の活動記録を添えて報告。

10月24日 ザンビア独立39周年記念日にあたり、山口勝美会長よりの祝辞をジャパントイムズ、毎日デイリーニュース、デイリーヨミウリに掲載。また、ゴッドフリー S. シマシク ザンビア大使主催による記念レセプションがホテルオークラにて開かれ、大西宏史事務局長が出席、同大使にお祝いの挨拶。

12月9日 横浜のある業者がザンビア大使館に寄贈していた衣料品 (Used clothing) を横浜港よりDURBAN 経由LUSAKAの The Executive Director, Maureen Mwanasa Community Initiative, State House (MMCI) 宛コンテナ船で発送。尚、輸送費関係総額¥963,616を当協会とECC地球救済キャンペーン事務局が共同で全額負担。



2004

1月29日 MMCIのThe Executive Director, Ms. Mwanawasa 大統領夫人より、ゴッドフリー S. シマシク大使経由で2003年12月9日に横浜港で船積みした衣料品が無事に届いた旨の連絡を受けた。



2004

6月20日 「ホノルル市長杯第34回全日本青少年英語弁論大会」の開会にあたり、ザンビアへ帰国中のゴッドフリー S. シマシク大使より大会出場者への祝辞と激励のメッセージを寄せていただき、MCが開会式でこれを代読。（於・大阪）

10月14日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ「ECC地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた¥200,000(US\$1,804.57)を活動援助資金として、寄附。

10月24日 ザンビア独立40周年記念日にあたり、新高輪プリンスホテルに於いてザンビア大使主催による独立40周年記念祝賀会が催され、大西宏史事務局長に大西裕子が同伴出席しお祝いの挨拶。（於・東京）

2005

1月18日 Japan External Trade Organization (JETRO)とザンビア大使館共催によるビジネスセミナー【促進強化中のザンビア観光事業へのビジネスチャンス】が東京JETRO本部に於いて1月19日に開催され、来日中のLevy Patrick Mwanawasa(SC) ザンビア大統領が Main Speaker を担当。これに先立ち、シマシク大使の特別ご紹介により、Mwanawasa ザンビア大統領を大西宏史事務局長がホテルニューオオタニに於いて表敬挨拶。日・ザ友好協会の今日までの活動状況、今後の活動についての抱負などを約40分にわたり紹介。大統領よりはザンビアで推進中の産業振興プロジェクトの現状に関するお話を伺った。
（於・東京）

2005

6月25日 「ホノルル市長杯第35回全日本青少年英語弁論大会」に、ゴッドフリー S.シマシク大使が特別来賓としてご臨席、開会式で大会出場者への祝辞と激励のメッセージをいただいた。（於・東京）

10月13日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ「ECC地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた¥200,000(US\$1,730.11)を活動援助資金として送金、寄附。

2006

6月18日 「ホノルル市長杯第36回全日本青少年英語弁論大会」に、ゴッドフリー S.シマシク大使が特別来賓としてご臨席、開会式で大会出場者への祝辞と激励のメッセージをいただいた。
（於・大阪）

10月12日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ「ECC地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた¥200,000(US\$1,681.24)を活動援助資金として送金、寄附。



2007

6月24日 「ホノルル市長杯第37回全日本青少年英語弁論大会」に、ゴッドフリー S. シマシク大使が特別来賓としてご臨席、開会式で大会出場者への祝辞と激励のメッセージをいただいた。（於・大阪）

9月27日 ルサカにある「マザー・テレサの家」へ「ECC地球救済キャンペーン」による募金と日・ザ友好協会よりの分をあわせた¥200,000(US\$1,743.68)を活動援助資金として送金、寄附。

2008

4月1日 「ザンビアの子供たちにえんぴつ・ノート・シャツを届けよう！」と全国のECC生に呼びかけたキャンペーンをスタート。

5月27日 第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)開催にあたり、Levy Patrick Mwanawasa ザンビア大統領が来日。シマシク大使の招待でTICAD IV会議場に隣接するRoyal Park Hotel Yokohamaに大統領をたずね挨拶する機会をいただいていたが、長旅による到着で大統領の体調が思わしくなく、急遽大統領代理のSarah Sayifwanda, MP, Minister of Agriculture and Cooperatives に挨拶、協会活動状況紹介と懇親の集いに参加。（於・横浜）





2008

6月15日 「ホノルル市長杯第38回全日本青少年英語弁論大会」の開会にあたり、ザンビアへ帰国中のゴッドフリー S. シマシク大使より大会出場者への祝辞と激励のメッセージを寄せていただき、MCが開会式でこれを代読。（於・大阪）

8月25日 Levy Patrick Mwanawasa (SC) ザンビア大統領が8月19日、パリの病院でご逝去。8月22日～26日にわたってザンビア大使館に於いて弔問受付が行われ、山口勝美会長と大西宏史事務局長が弔問記帳。（於・駐日ザンビア大使館）

10月16日 「ザンビアの子どもたちにえんぴつ・ノート・シャツを届けよう！」と全国のECC生に呼びかけたキャンペーンで寄せられた物資は段ボール箱19個にもものぼり、ザンビア・ルサカに本部があるMMCI(Maureen Mwanawasa Community Initiative)宛10月16日に船便で神戸国際郵便局(KOBE INTERNATIONAL POST OFFICE KOBE BRANCH)より発送。



2009

4月15日 MMCI (Maureen Mwanawasa Community Initiative) のChairpersonであるMs. Maureen K. Mwanawasa（故、Levy Patrick Mwanawasa, SC ザンビア大統領のFirst Lady）より、すべて無事に受け取った旨の連絡と書面による感謝メッセージをザンビア大使館経由で受けた。

6月21日 「ホノルル市長杯第39回全日本青少年英語弁論大会」に、ゴッドフリー S. シマシク大使が特別来賓としてご臨席、開会式で大会出場者への祝辞と激励のメッセージをいただいた。（於・東京）





2009

6月30日 ゴッドフリー S. シマシク駐日大使が任期を終えて離日。



2010

6月20日

- a) 「ホノルル市長杯第40回全日本青少年英語弁論大会」に、ビクシタ・ワムディラ・レワニカ特命全権大使、シルベスタ ムンダンダ参事官、ローズマリー バンダー一等書記官が特別来賓としてご臨席、大会開会式でレワニカ大使より大会出場者への祝辞と激励のメッセージをいただいた。（於・大阪）



- b) 昨年8月、新しく着任されたレワニカ特命全権大使が初来阪の機会に、大阪府知事への表敬訪問をはじめ、経済団体・企業、教育機関等との会合の場をもちたいとの意向を受けて、日・ザ友好協会は関係各機関と接触を開始していたが、6月21日～22日の間の確定スケジュールをレワニカ大使に報告し、事前打ち合わせ会議をおこなった。（於・大阪）

2010

6月21日 レワニカ大使、ムンダダ参事官、バンダー等書記官が、大阪大学に辻毅一郎理事・副学長を訪問、ザンビア大学と大阪大学の間での学生・教授などの交流活動促進について意見交換。大阪大学より澤村信英教授（人間科学研究科 グローバル人間学）、ホーキンス ヴァーゼル特任助教授（グローバルコラボレーションセンター）亀岡 雄国際部長が会合に出席。当協会より大西宏史事務局長、通訳担当の渡 正文が同席。（於・大阪）

6月22日

- a) レワニカ大使一行は大阪商工会議所を公式訪問。大阪商工会議所関係者は、西田和宣国際ビジネス委員会副委員長、西田賢治常務理事・事務局長、上月康嗣理事・国際部長、竈門加珠子国際部国際担当課長、名越由美子国際部国際担当主任が出席。在阪企業によるザンビアへの進出、投資活動の促進についてレワニカ大使より提案。まずは、双方間のいろいろな情報・データの共有を第一歩に、その上で大阪商工会議所会員に参加を呼びかけてワークショップ、企業訪問の実施も出来ることで意見一致。引き続いて、大阪商工会議所に隣接の「大阪企業家ミュージアム」を見学。当協会より大西宏史事務局長、通訳担当の渡 正文が同席。（於・大阪）
- b) レワニカ大使一行は木村慎作大阪副知事を表敬訪問。午前中の大阪商工会議所における話し合いで得た結論と同じく、大阪府とザンビア間の交流促進のためには先ずはいろいろな情報・データの共有を第一歩に、との意見で一致。当協会より大西宏史事務局長、通訳担当の渡 正文が同席。（於・大阪）
- c) レワニカ大使一行は関西外国語大学の谷本榮子理事長・学長を訪問。同大学の山本 甫理事・国際交流部長が同席。ザンビアの大学と関西外大の間で学生・教授や研究者によるさまざまな交流活動に今後の可能性について意見交換。当協会より大西宏史事務局長、通訳担当の渡 正文が同席。（於・大阪）

2010

10月4日 「第7回科学技術と人類に関する国際フォーラム」(STSフォーラム)が国立京都国際会館で開催され、世界の著名な科学者、政治家、企業家等が集まり「科学技術の光と影」をテーマに白熱した議論が展開された。同会議に参加されたレワニカ大使、ムワニャナ レワニカ ザンビア科学アカデミー会長、ブライアン チトオ ザンビア科学技術大臣一行が滞在先の「グラントプリンスホテル京都」に於いて日・ザ友好協会主催の歓迎食事を開き、大西宏史事務局長、ECCスタッフとダスティン グリーンはザンビアの最新状況を伺いながら 日・ザ友好協会の今後の活動について話し合った。



2011

1月21日 ザンビア北部地域のナコンデにトラクター（中古）ほか付属一式を届けよう！と全国区のECCスタッフ・講師・生徒に呼びかけ、購入実現。神戸摩耶埠頭よりコンテナにて船荷出航した。タンザニアのダルエスサラームで平成23年3月24日に陸揚げし、タザラ鉄道でザンビアのルサカへ4月13日ごろ到着予定。





2011

12月7日 レワニカ大使急逝（2011年12月5日）の報を受けて、大西宏史事務局長、ECCスタッフはザンビア大使館に赴き記帳。

12月8日 レワニカ大使との最後のお別れお見送り式に大西宏史事務局長、渡正文ECCスタッフが参列。

（於・東京都台東区の「マルキメモリアル21」）



2012

6月16日 あたらしく着任されたンゴナ・ムエルワ・チベサクンダ大使とエマ・ムイラ・チベサクンダ夫人にとってはじめての大阪訪問であり、日・ザ友好協会主催歓迎夕食会を開催。以前、JICA（独立行政法人国際協力機構）の一員としてザンビアへ大阪府警より柔道の指導のために派遣された松本太氏も招待、当時の話しに華が咲いた。大西宏史事務局長夫妻及びECCスタッフが同席。（於・大阪）

2012

6月17日 「ホノルル市長杯第42回全日本青少年英語弁論大会」に、チベサクンダ大使とエマ・ムイラ・チベサクンダ夫人が特別来賓としてご臨席。開会式でチベサクンダ大使より大会出場者への祝辞と激励のメッセージを戴いた。大会後はECCスタッフの先導で通天閣に上られ大阪の夜景と食い道楽でにぎわう心齋橋のふぐ料理を楽しまれた。



2012



7月27日 独立行政法人国際協力機構(JICA)と国際連合工業開発機関(UNIDO)が主催する「ザンビア投資セミナー(大阪)」が大阪銀行協会にて開催された。当協会は来阪されたンゴナ・ムエルワ・チベサクンダ大使ご夫妻の大阪滞在中アテンドを担当した。セミナー実施後は人出でにぎわう天神祭に協会の渡 正文が案内し、日本文化を体験するまたとない機会となった。

8月3日 ザンビア共和国外務省アジア太平洋局長ウイニー・チベサクンダ氏が日本国外務省の招聘事業で7月29日から8月7日の日程で来日され、8月3日から5日まではリーガロイヤルホテル京都に滞在された。同ホテルにおいて開催した日・ザ友好協会主催歓迎夕食会ではザンビアにおける日本企業や中国企業活動状況、現地において日本語を教える人材が欲しい等、ザンビアの現状を色々とお聞きする事ができ有意義な時間を過ごす事ができた。(於：大阪)

2013

6月23日 「ホノルル市長杯第43回全日本青少年英語弁論大会」にジム シニエンザ公使参事官がザンビアに公務帰国中のチベサクンダ駐日大使の代理で特別来賓としてご臨席。大会開会式でジム シニエンザ参事官より出場者への祝辞と激励のメッセージを戴いた。（於：東京）

10月24日 チベサクンダザンビア大使ご夫妻主催による独立49周年記念祝賀会が「ホテルオークラ東京」に於いて盛大に催され、大西宏史事務局長及び渡正文事務局長補佐が出席しお祝いの挨拶を述べた。レセプション開宴にあたり、大使よりのご指名を受け大西宏史事務局長がザンビアの益々の発展とザンビア国民の、また会場のみなさまの平和と幸福を祈念して乾杯の音頭の発声を務めた。尚、ECCグループと日・ザ友好協会はこの記念すべき祝賀会に賛助金として20万円を届けた。（於・東京）



2014

6月21日 インゴナ・ムエルワ・チベサクンダ大使とエマ・ムイラ・チベサクンダ夫人を大阪へ2年ぶりにお迎えして、日・ザ友好協会は歓迎夕食会をインターコンチネンタルホテル内仏料理店「Pierre」にて開催。ザンビア共和国50周年を記念して東京・大阪でもお祝いの催し構想に関する話し合いで盛り上がった。大西事務局長及び渡事務局長補佐とECCスタッフが出席、また山口学園から酒元英二理事長の同席をいただいた。（於・大阪）

6月22日 「ホノルル市長杯 第44回全日本青少年英語弁論大会」に、チベサクンダ大使とエマ・ムイラ・チベサクンダ夫人が特別来賓としてご臨席。開会式でチベサクンダ大使より大会出場者への祝辞と今回のメインテーマ「相互理解を深めるために」に触れながら激励のメッセージを戴いた。

（於・大阪市北区ナレッジシアター）



2014

10月5日 来日中の初代駐日 ロンベ チベサクンダ大使（日・ザ友好協会発足時の名誉会長）をザンビア大使公邸に大西事務局長及び渡事務局長補佐が表敬訪問。現駐日チベサクンダ大使ご夫妻も同席。日・ザ友好協会発足以降の活動状況を説明し、記録資料をプレゼント。ザンビアの最新状況を伺い、日・ザ友好協会の今後の望まれる活動計画について意見交換を行った。



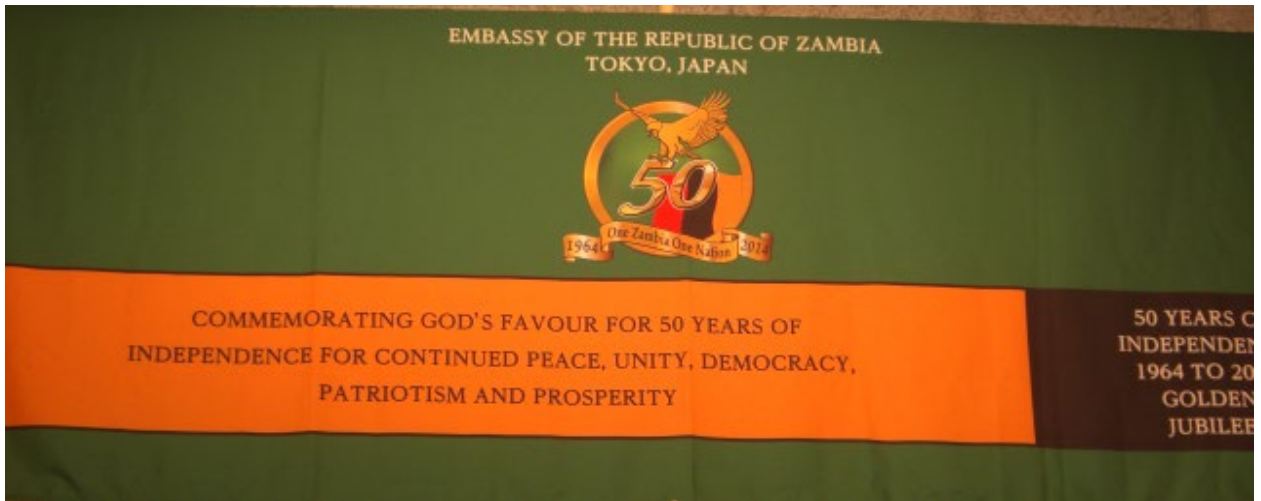
10月7日 SADC（南部アフリカ開発共同体）のセミナーに来阪されたチベサクンダザンビア大使をセミナー終了後、山口会長が訪問。同セミナー成功のお祝いを申し上げた。協会はセミナー準備段階で大阪商工会議所を紹介し側面より協力を行なった。（於：大阪）



2014

10月24日 ザンビア大使館主催による独立50周年（ゴールドジュビリー）記念祝賀会が東京虎の門の「ホテルオークラ東京」に於いて盛大に催された。大西事務局長、渡事務局長補佐並びにECCスタッフがお祝いに駆けつけた。レセプション開宴にあたり、チベサクンダ大使よりのご指名を受け大西事務局長がザンビア共和国の記念すべき節目の年へのお祝いと、今後益々の発展と国民の皆さまの平和と幸せを祈念して、乾杯の音頭発声を務めた。尚、ECCグループと日・ザ友好協会はこの記念すべき祝賀会に賛助金として100万円を届けた。

（於：東京）



11月5日 Michael Chilfuya Sata ザンビア大統領が10月28日、ロンドンのキングエドワード7世病院でご逝去。11月4日～7日に亘ってザンビア大使館に於いて弔問受付が行われ、山口勝美会長、大西事務局長並びに渡事務局長補佐が弔問記帳。（於：駐日ザンビア大使館、東京）





2015

5月18日 3月13日に逝去した日本・ザンビア友好協会前事務局長 大西宏史のお別れの会が「阪急インターナショナルホテル」に於いて開催された。ンゴナ・ムエルワ・チベサクンダ大使ご夫妻も東京より駆けつけられ、お別れの言葉を述べられた。

(於：大阪)

6月13日 ンゴナ・ムエルワ・チベサクンダ大使およびビクター・ムンバー一等書記官をお迎えし日本・ザンビア友好協会は歓迎夕食会をインターコンチネンタルホテル内仏料理店「Pierre」にて開催した。夕食会にはホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会新会長に就任した花房雅博副社長を始め、山口学園より酒元理事長、協会より渡事務局長補佐、ECCスタッフが通訳として参加した。(於：大阪)

6月14日 「ホノルル市長杯 第45回全日本青少年英語弁論大会」に、特別来賓としてンゴナ・ムエルワ・チベサクンダ大使およびビクター・ムンバー一等書記官をお迎えした。チベサクンダ大使から、今大会のメインテーマである「日本と世界の教育について考える」がタイムリーなトピックであるとのお言葉と大会参加コンテストへの大きな励ましのお言葉を戴いた。

(於：大阪市北区 ナレッジシアター)



2016

3月14日 ECC地球救済キャンペーンとタイアップして、昨年6月に開始したザンビアの将来を担う若者に英文図書を届ける活動「ザンビアの学校へ本を届けよう！」にECC関係者（スタッフ・講師・生徒の皆様）から約1,600冊の英文図書が寄せられ、ECC地球救済キャンペーンに寄せられた浄財で購入した英文図書を加え、駐日ザンビア大使館に寄贈を行なった。

6月3日 ザ・リッツカールトン大阪で開催された「関空旅博2016」プレイベントセミナー&ワークショップにムティティ大使がプレゼンターとして参加された。駐日ザンビア大使館からの要請により、日本・ザンビア友好協会のリーマッコレースタッフが通訳として協力を行なった。（於：リッツカールトン大阪）

6月4日 関西国際空港で開催された「関空旅博2016」に駐日ザンビア大使館がブースを出展し、日本・ザンビア友好協会の渡事務局長補佐が、メンバー等書記官とともにブース内で一般来訪者へザンビア大使館のパンフレットを手渡すなどのヘルプを行なった。（於：関西国際空港）

6月18日 日本・ザンビア友好協会は、ムティティ大使とそのご子息およびルビнда1等書記官をお迎えし、ホテルニューオータニ大阪内仏料理店「SAKURA」にて歓迎夕食会を開催した。夕食会にはホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会花房雅博会長を始め、ECC教育研究所太田所長、山口学園より酒元理事長、協会より渡事務局長補佐、並びにECCスタッフが通訳として参加し、大阪城のライトアップされた夜景を見ながら楽しいひと時を過ごした。（於：ホテルニューオータニ大阪）



2016

6月19日 昨年8月、新しく着任されたムティティ特命全権大使が初めて「ホノルル市長杯 第46回全日本青少年英語弁論大会」にご子息および1等書記官を帯同され特別来賓としてご臨席、開会式で大会出場者への祝辞と今回のメインテーマ「ストップ！世界規模の環境汚染」に触れながら激励のメッセージを戴いた。

（於・大阪市北区ナレッジシアター）

10月24日 52回目のザンビア独立記念日を迎えるにあたり、ザンビア大使館主催の独立記念レセプションが大使公邸で開催された。当協会からは独立記念日を祝して、浄財20万円を寄附し、また山口勝美会長の代理として、渡事務局長補佐とECCスタッフが出席し、ムティティ駐日大使からの要請により、渡事務局長補佐がザンビア共和国の人々への幸福と平和を願い、乾杯の音頭をとらせていただいた。

11月8日 ザンビア大使館の要請を受け、ロンベ・チベサクンダ初代駐日大使（現コメッサ司法長官）にお会いするために関西大学教員宿舎を訪問。ロンベ・チベサクンダ初代駐日大使は関西大学の招聘事業で大学客員教授として南アフリカの政治学講義を行うために来日しており、現在の日本・ザンビア友好協会の現状について意見交換を行った。

（於：関西大学）





2016

12月9日 ザンビア共和国外務省アジア太平洋局長シンディ・モンガ氏が日本国外務省の招聘事業で来日され、12月9日にホテルニューオオタニ大阪で、当協会主催の歓迎昼食会を開催した。昼食会には来日中のロンベ・チベサクンダ初代駐日大使（現コメッサ司法長官）もお招きして、ザンビア共和国の最新状況等をお伺いし、有意義な時間を過ごす事ができた。

（於：大阪）

12月19日 ザンビア共和国駐日ムティティ大使が関西大学でザンビア共和国の観光地の魅力について講演を行った。当協会はムティティ大使を新大阪駅でお出迎えをし、関西大学までアテンドを行なった。ムティティ大使は講演終了後、関西大学客員教授として来日中のチベサクンダ初代駐日大使（現コメッサ司法長官）を表敬訪問した。

（於：関西大学）



2017

6月16日 日本・ザンビア友好協会は、ムティティ大使を学校法人山口学園にお招きし、学園内学生（ECC国際外語専門学校、ECCアーティスト美容専門学校、ECCコンピュータ専門学校）のためにザンビア共和国についての講演会を開催した。講演の中で特に観光について、動画やスライドを駆使したムティティ大使のお話には学生は大きな興味をかき立てられたようで。講演会終了後の質疑応答では、学生から活発な質問が矢継ぎ早に出された。

（於：山口学園）



2017

6月16日 日本・ザンビア友好協会は、ムティティ大使とムンバ参事官およびムンバ1等書記官をお迎えし、ホテルニューオータニ大阪内仏料理店「SAKURA」にて歓迎夕食会を開催した。夕食会にはホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会花房雅博会長を始め、ECC教育研究所太田所長、山口学園より酒元理事長、協会より渡事務局長補佐、並びにリーマッコレーECCスタッフが通訳として参加し、大阪城のライトアップされた夜景を見ながら楽しいひと時を過ごした。

(於：ホテルニューオオタニ大阪)



6月17日 ザンビア共和国駐日大使館ムンバー等書記官がECC外語学院生のためのワークショップを行なった。大阪梅田にある阪急オフィスタワービル内にあるECCオープンスクエア（ECC生及び英語に興味がある人のためのフリースペース）にて、ムンバー等書記官はザンビア観光についてトークやクイズ、ゲームを交えながら、ザンビアに関する情報をECC生のために提供した。

(於：ECCオープンスクエア大阪)



2017

6月18日 ムティティ駐日大使に「ホノルル市長杯 第47回全日本青少年英語弁論大会」の特別来賓としてご臨席頂いた。大使はムンバ参事官とムンバ1等書記官を帯同され早朝より夕刻まで英語弁論大会に参加され、開会式では大会出場者への祝辞と今回のメインテーマ「技術の進化と未来への期待」についてスピーチをされ、聴衆およびコンテストへの力強いメッセージを送っていただいた。
(於・大阪市北区ナレッジシアター)



7月26日 ムティティ駐日大使の要望に応え山口勝美協会会長が旅行会社のH I Sを大使にご紹介、ミーティングの場を手配した。ムティティ大使はザンビア共和国内の観光を日本マーケットに売り込むためのトップ外交をしたく、H I Sを選択し、その会議実現のためのアシストを山口会長が行った。

(於・新宿H I S本社)



2017

10月6日～14日

日・ザ友好協会の渡正文事務局長補佐一行8名がザンビア共和国を訪問

10月6日 ルサカ国際空港で前駐日大使ムエルワチベサクンダ氏及びマダムチベサクンダ氏の出迎えを受ける。

10月7日 COMESA（東南部アフリカ経済共同体）司法裁判所プレジデントジャッジ、ロンベチベサクンダ氏（初代駐日大使）の私邸に招かれ、昼食会に参加した。ライブバンドの演奏に民族楽曲を楽しむなど、心よりのもてなしを受けた。



10月8日 前駐日大使ムエルワチベサクンダ氏の私邸に招かれ、夕食会のもてなしを受けた。

10月9日 ルサカ市内にあるSacred Heart of Jesus Primary School を訪問し、子供たちの歓迎を受ける。お土産にサッカーボール10個を持参した。



2017

10月10日 A) ルサカ市内の貧困地区にあるHope and Faith Ngombe Elementary Schoolを訪問した。子供たちの歓迎を受けたのち、全クラスを訪問し総数657名の子供たちと言葉を交わすことができた。



B) 今回のツアーメンバーに対し「ザンビア友好協会 渡様始めザンビア訪問団ご一行との夕食会」と題し、在ザンビア日本国大使、側嶋秀展大使閣下よりの歓迎夕食会が大使公邸にて催された。

10月12日 ザンビア南部の国境に位置するリビングストーン地区を訪問、世界遺産であるビクトリアフォールを見学した。



10月14日 前駐日大使ムエルワチベサクンダ夫妻による「さよなら昼食会」に招かれ、その後、ルサカ国際空港で見送りを受け、ザンビアを出国。



2017

10月24日 ザンビア共和国独立53周年周年記念日にあたり、山口勝美会長からの祝辞をジャパントイムズおよびジャパニニュースに掲載。

10月24日 東京虎の門にあるホテルオークラにて開催された駐日ザンビア大使館、ムティティ大使閣下主催の第53回ザンビア独立記念日祝賀会に渡事務局長補佐とECCスタッフが出席。レセプション開宴にあたり、大使よりのご指名を受け渡事務局長補佐がザンビア共和国の発展とザンビア国民の幸福を祈念して乾杯の音頭の発声を務めた。尚、ECCグループと日・ザ友好協会はこの記念すべき祝賀会に賛助金として30万円を届けた。（於・東京）



11月25日 ECC四条烏丸校にてザンビア共和国への一層の理解と観光促進のためのイベント「ザンビアデー」を開催した。駐日ザンビア大使館よりムンバー等書記官にお越しいただきECC外語学院生とのふれ合いワークショップを実施した。（於：京都）

11月26日 ECCイオンモール岡山校にてザンビア共和国への一層の理解と観光促進のためのイベント「ザンビアデー」を開催した。前日同様駐日ザンビア大使館ムンバー等書記官にお越しいただき、ECC外語学院生と共にクイズやゲームでふれ合いワークショップを楽しんだ。（於：岡山）



2017

11月25日 ECC四条烏丸校にてザンビア共和国への一層の理解と観光促進のためのイベント「ザンビアデー」を開催した。駐日ザンビア大使館よりムンバー等書記官にお越しいただきECC外語学院生とのふれ合いワークショップを実施した。
(於：京都)

11月26日 ECCイオンモール岡山校にてザンビア共和国への一層の理解と観光促進のためのイベント「ザンビアデー」を開催した。前日同様駐日ザンビア大使館ムンバー等書記官にお越しいただき、ECC外語学院生と共にクイズやゲームでふれ合いワークショップを楽しんだ。(於：岡山)



2018

3月15日 ラザロスカパンプウェ ザンビア国連大使歓迎昼食会開催

外務省の招聘事業で日本へお越しになられたカパンプウェザンビア国連大使を京都リーガロイヤルホテルレストランにお迎えして協会主催歓迎昼食会を開催した。ニューヨーク国連カパンプウェ大使、国連日本政府代表部の間瀬参事官及び外務省国連政策課の齋藤潤外務事務官を賓客に、当協会からは渡事務局長補佐、ECCスタッフリーマッコレーイ及び山口学園酒元理事長が出席また京都学園高校を代表して米田美術科教諭が参加した。カパンプウェ大使および間瀬参事官から国連でのご活動を伺うことができ有意義な時間を共有することができた。（於：京都リーガロイヤルホテル）

**3月15日午後** 京都学園高校訪問

カパンプウェ大使の柔道初体験を始め京都学園高校生とのふれ合いを実施。カパンプウェ大使の国連での活動をお聞きし、生徒達はSustainable Development Goals（持続可能な開発目標）をテーマにプレゼンテーションを実施。カパンプウェ大使には高校生たちのプレゼンテーションに対して、国連の取り組み姿勢を交えながら丁寧なコメントを頂いた。（於：京都学園高校）



2018

3月15日夕刻 京都学園高校主催 カパンヅウェ国連大使 歓迎夕食会に参加。
当協会からは渡事務局長補佐とECCスタッフが出席した。（於：京都貴船茶屋）



3月20日 郷さくら美術館訪問
ムティティ大使を中目黒にある「郷さくら美術館」へご案内し、日本の美である日本画の紹介と桜をテーマにした数々の作品を堪能して頂いた。（於：東京中目黒、郷さくら美術館）



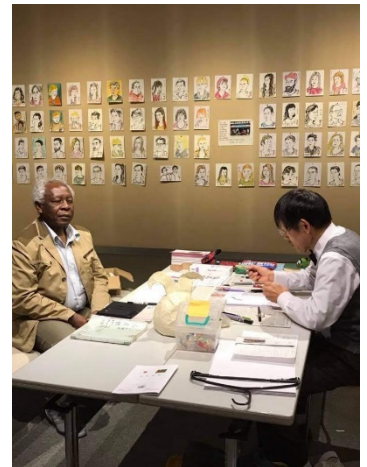
3月29日 アフリカ大使会議レセプションに参加。ムティティ大使やザンビア共和国に駐在中の側嶋秀展日本国大使を始め、在京アフリカ各国大使およびアフリカ各国に赴任中の日本国大使とお会いし、交流を深めることができた。（於：JICA市ヶ谷ビル国際会議場）



2018

4月8日 福岡県嘉麻市立織田美術館 ザンビアの子どもたち似顔絵展

駐日ザンビア大使館からシニンザ参事官にお越し頂き、ザンビア共和国の経済と観光について講演会を開催して頂いた。また展覧会開催にあたり在ザンビア日本国大使 側嶋秀展大使よりご祝辞を頂戴した。展覧会期間中（4月6日ー15日）の入場者は合計716名であった。（於：福岡県嘉麻市立織田美術館）



5月25日 在京アフリカ外交団レセプションに渡務局長補佐とECCスタッフリーマッコレーイが参加し、ムティティ大使を始め在京のアフリカ各国の大使と交流を深めた。日本政府を代表して麻生財務大臣がご出席になりお祝いのスピーチをされた。（於：六本木、住友不動産六本木通ビル）



2018

6月8日 駐日ザンビア大使館ムンバー等書記官を京都学園高校にご案内し、ザンビアデーを開催した。高校生へのアフリカ理解促進を図った。（於：京都学園高校）

6月8日 ムティティ大使を山口学園にご案内し、在校生徒との交流会を実施した。テーマはSDG（持続可能な開発目標）とし、大使からはプレゼンを行なった学生一人一人に激励のコメントを頂戴した。（於：山口学園国際ホール）



6月8日 日本・ザンビア友好協会は、ムティティ大使とムンバー等書記官ご夫妻をお迎えし、ホテルニューオータニ大阪内仏料理店「SAKURA」にて歓迎夕食会を開催した。夕食会にはホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会花房雅博会長を始め、ECC教育研究所太田所長、山口学園より酒元理事長を始め関係者が参加し、懇親を深めた。（於：ホテルニューオオタニ大阪）

6月9日 ムティティ大使、ムンバ書記官ご夫妻を京都観光へご案内した。大使が京都を訪問されるのは初めてであり、京都御所、金閣寺、龍安寺、平安神宮と京都国立博物館を見学した。京都散策と初夏の京都を満喫された。（於：京都市内）

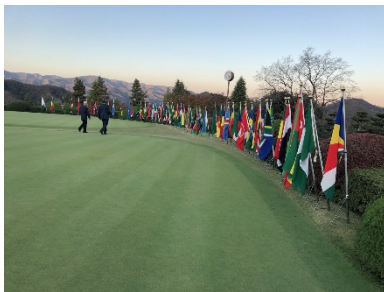




6月10日 ムティティ大使より第48回ホノルル市長杯 全日本青少年英語弁論大会のコンテストへ祝辞と励ましのお言葉を頂いた。（於：グランフロント大阪）



11月17日 ザンビア共和国主催の第6回アフリカゴルフカップレセプションに渡事務局長補佐とECCスタッフが出席し、ムティティ大使へゴルフ開催のお祝いを当協会会長に代わりお伝えした。またレセプションではインドネシア共和国大使、アンゴラ共和国大使、マラウイ共和国大使、タンザニア連合共和国大使、ジブチ共和国大使等にお会いし、当協会の活動をご説明した。（於：神奈川カントリークラブ）





日本ザンビア友好協会

〒530-0044

大阪市北区東天満1-10-20

ECC本社ビル3F

TEL: 06-6352-3144 FAX: 06-6352-3599

Email: zambia@ecc.co.jp